

外国人患者の受入れ状況について**<受入れ病院（予定含む）のみ>**

調査票①の【設問 1－4】で選択された番号に応じ、ご回答をお願いいたします。

医療機関名のみ再入力をお願いします。

医療機関名

【設問 2－1】（【設問 1－4】で「1」と回答された方は、ココから）
海外在住の外国人患者受入れを実施するようになった経緯を教えてください。
該当する番号をご記入ください。

記入欄

- 1 外国人患者又は家族からの依頼
- 2 貴院の方針として自ら開始
- 3 国際医療コーディネーターからの紹介
- 4 保険会社からの紹介
- 5 旅行会社等からの紹介
- 6 その他

（具体的に

【設問 2-2】（【設問 1-4】で「2」と回答された方は、ココから）

平成 28 年度（平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月の 1 年間）の海外在住の外国人患者の受入れ人数についてお聞きします。

延べ人数をご記入ください。なお、実数で記録されている場合は実数での回答でも結構です。（**健診・検診分野**・**治療分野**それぞれ記載）

健診・検診分野

(1) 外国人患者の受入れ人数 人

(2) 「(1) 外国人患者の受入れ人数」のうち、居住国別の受入れ人数
(居住国と人数をご記入ください。)

中国	人
韓国	人
フィリピン	人
米国	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人

合計が「(1) 外国人患者の受入れ人数」と同じになるように記入

治療分野(1) 外国人患者の受入れ人数 人(2) 「(1) 外国人患者の受入れ人数」のうち、居住国別の受入れ人数
(居住国と人数をご記入ください。)

中国	人
モンゴル	人
フィリピン	人
マレーシア	人
ブラジル	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人
その他：(居住国)	人

合計が「(1) 外国人患者の受入れ人数」と同じになるように記入

【設問 2 - 3】

海外在住の外国人患者を受入れる際に、診療報酬単価と比較して、価格をどの程度に設定していますか。(診療分野・診療科に設定されている場合は、最も受入れの多い診療分野・診療科の水準を選んでください。)

該当する番号をご記入ください。

記入欄

- 1 診療報酬単価と同じ又はそれ以下
- 2 診療報酬単価の 1.1 倍以上 1.5 倍未満
- 3 診療報酬単価の 1.5 倍以上 2 倍未満
- 4 診療報酬単価の 2 倍以上 2.5 倍未満
- 5 診療報酬単価の 2.5 倍以上 3 倍未満
- 6 診療報酬単価の 3 倍以上

【設問 2－4】（【設問 1－4】で「3」と回答された方は、ココから）

海外在住の外国人患者の受入れを実施している（又は実施する予定の）診療分野・診療科は何ですか？

該当する番号をご記入ください。（全て記載）

記入欄						

- 1 健診・検診
- 2 がん治療
- 3 心臓血管外科
- 4 循環器科
- 5 消化器科
- 6 脳神経外科
- 7 眼科
- 8 腎臓内科
- 9 精神科
- 10 整形外科
- 11 歯科
- 12 診療分野を特定せず概ね全分野で受入れる
- 13 その他（具体的に）

【設問 2－5】

海外在住の外国人患者受入れの実施（又は受入れ予定）にあたり、今後、特に注力していく診療分野・診療科は何ですか？

該当する番号をご記入ください。（最大3つまで記載）

記入欄			
-----	--	--	--

- 1 健診・検診
- 2 がん治療
- 3 心臓血管外科
- 4 循環器科
- 5 消化器科
- 6 脳神経外科
- 7 眼科
- 8 神経内科
- 9 精神科
- 10 整形外科
- 11 歯科
- 12 診療分野を特定せず概ね全分野で受入れる
- 13 その他（具体的に）

【設問 2－6】

海外在住の外国人患者を受入れるために実施している(実施しようとしている)ことは何ですか？

該当する番号をご記入ください。(全て記載)

記入欄							

- 1 外国人患者受入窓口（国際診療科等の専門部署・スタッフ）の設置
- 2 多言語に対応した院内表示
- 3 医療通訳を院内のスタッフとして配置
- 4 医療通訳を院外から必要に応じて手配
- 5 多言語に対応した医療従事者（医師・看護師など）の配置
- 6 外国人患者受入れに対応した診療施設、入院施設の設置
- 7 契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応
- 8 情報発信・プロモーション活動
- 9 国際医療コーディネーター*との連携
- 10 国際医療コーディネーター*以外の機関（国内外の医療機関、自治体、旅行会社など）との連携
- 11 その他 （具体的に） }

※国際医療コーディネーターとは、患者の受入れから帰国後のフォローアップまでのアレンジ（ビザの申請、宿泊手配のサポートや治療・手術日のスケジュール調整等）を行う事業者のこと

【設問 2-7】

海外在住の外国人患者に、医療行為以外で提供している（又は提供を予定している）サービスの実施主体についてお聞きします。

各サービスについて、該当する実施主体の番号をご記入ください。

	業務名	概要	当院	外部委託		未提供	記入欄
				有償	無償		
事前	患者情報の入手	医療情報、患者情報の入手	1	2	3	4	
	同意書の締結	治療内容や治療費変更の可能性など、同意書を作成し、患者と締結	1	2	3	4	
	ビザの手配	ビザ取得に必要な書類の入手・作成	1	2	3	4	
	必要書類の翻訳	入退院関係の書類書類、検査・治療の同意書などの必要書類の翻訳	1	2	3	4	
	来日搬送の手配	日本までの移動や空港到着後から病院までの搬送などの手配	1	2	3	4	
	航空券・宿泊施設の予約	航空券や国内宿泊施設の予約	1	2	3	4	
滞在中	空港・医療機関・宿泊施設の送迎同行	空港・医療機関・宿泊施設の送迎同行	1	2	3	4	
	医療通訳・医療結果翻訳	医療通訳が必要な場面(事前説明、受付、診察、検査等)における医療通訳	1	2	3	4	
	院内での特別食の提供	入院中の患者への宗教・信条(ベジタリアンやハラール食など)に合わせた特別食の提供	1	2	3	4	
	支払い手続き	費用の支払い手続き	1	2	3	4	
	生活面・観光での支援	日本滞在中の病院外での支援(通院同行含む)	1	2	3	4	
帰国	アフターケアの支援・再診の調整	帰国後のアフターケアの支援及び再診時の日程調整等の支援	1	2	3	4	

【設問 2-8】

海外への情報発信・プロモーションのために独自にされていることがあれば、具体的に記載してください。(Web ページの多言語化、海外での広報活動など)

現在又は今後、ターゲットにする国があれば併せて記載してください。

ご協力ありがとうございました。

回答期限：平成 29 年 月 日（ ）
回答先：愛知県健康福祉部保健医療局
医務課医務グループ（山川）
電子メール：imu@pref.aichi.lg.jp

国際医療コーディネーター育成研修のご案内

愛知県では、医療機関の受入余力を活用して外国人患者に日本の医療サービスを提供し、地域医療に影響を及ぼさない範囲で医療ツーリズムを推進するため、外国人患者の受入れに重要な役割を果たす国際医療コーディネーターの育成研修を実施します。

11 月の開催に向けて、〇月中に受講者の募集を開始する予定ですので、ぜひご参加ください！ <参加費：無料>

当研修では・・・

- ⇒外国人患者の受診環境整備や患者・家族及び医療スタッフの支援を行うコーディネーター業務について学べます
- ⇒外国人患者に対する受入れ医療機関のマッチングや治療費の支払い代行、通訳派遣、その他患者受入れに関わる一連のサービスについて学べます
- ⇒具体的な事例についての講義や演習を通じて、医師、コーディネーター、弁護士などから直接学べます